

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

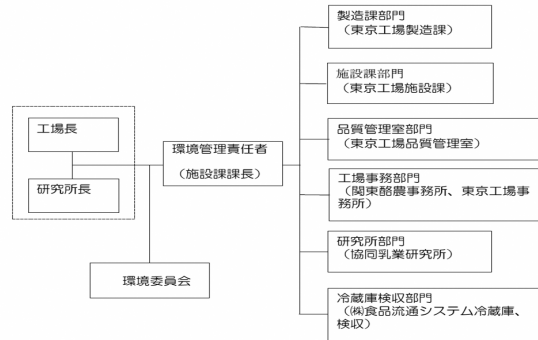
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 28 日	
東京都知事 殿	
提出者 住 所 東京都西多摩郡日の出町平井20-1 氏 名 協同乳業株式会社 東京工場 工場長 島津 眞吾 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 042-597-2111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	
事業場の所在地	
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0912 乳製品製造業
②事業の規模	製造出来高 9,623百万円（前年度実績）
③従業員数	115名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・下水汚泥→脱水→混合→醗酵→肥料 ・廃酸→混合→醗酵→飼料 ・廃プラ→破砕→フラフ燃料 ・動植物性残渣→混合→醗酵→飼料 ・ガラス→破砕→路盤材として再生 ・金属くず→分別・不純物除去→再生金属

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	排出量	7,428.00 t	196.00 t
	(これまでに実施した取組) ・下水汚泥：バイオ製剤使用により量を削減 ・廃酸：養豚業者への引き取りを基本とする ・製品製造において歩留まりを昨年度よりも向上させる事により排水への原料流出を減らす		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	排出量	8,000.00 t	190.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・製造物量が提言した製造ラインにおいて、これまで毎日生産だったところを生産休止曜日を設けることによって生産歩留まりの向上させ排水への原料流出を減らす。 ・配管内に残った製品ミックスの水送りをエアースリにすることで汚水の発生量を削減させる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光灯ランプ類
排 出 量	113.00 t	0.70 t	228.00 t	0.18 t

- ・下水汚泥：バイオ製剤使用により量を削減。脱水汚泥の水分含有率を下げる調整を行い汚泥ケーキを削減する。
- ・廃酸：養豚業者への引き取りを基本とする

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光灯ランプ類
排 出 量	110.00 t	0.70 t	210.00 t	0.18 t

- ・廃プラスチック：分別の細分化を昨年度より更に実施し有価物で業者へ引取ってもらう
具体的には廃プラ（産廃）扱いしていたプリンふた材の抜きかすを有価プラとして引き取ってもらえるよう検討・交渉する
- ・動植物性残渣：製品歩留まりを向上させ廃棄製品を減少させる

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 5 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
排 出 量	0.05 t	3.70 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
排 出 量	0.04 t	3.00 t	- t	- t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 5 年度）実績】				
産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
排 出 量	- t	- t	- t	7.50 t
【目標】				
産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
排 出 量	- t	- t	- t	7.00 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	6,885.00 t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	7,200.00 t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
	・業者による脱水機の定期点検及び分解洗浄の実施の継続 ・週1回の高圧洗浄機による脱水機メッシュ洗浄の実施の継続 ・汚泥脱水機の回転速度（処理速度）を脱水状態を見ながら調整する		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	全処理委託量	743.00 t	196.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	196.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	743.00 t	196.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面)－2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光灯ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光灯ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光灯ランプ類
全処理委託量	113.00 t	0.70 t	228.00 t	0.18 t
優良認定処理業者 への処理委託量	7.00 t	0.70 t	228.00 t	0.18 t
再生利用業者への 処理委託量	113.00 t	0.70 t	228.00 t	0.18 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)－3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
全処理委託量	0.05 t	3.70 t	－ t	－ t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.05 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	0.05 t	3.70 t	－ t	－ t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)－4

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
全処理委託量	－ t	－ t	－ t	7.50 t
優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	－ t	－ t	－ t	75.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	廃酸
	全 処 理 委 託 量	800.00 t	190.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	190.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	800.00 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第5面)－2

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず	動植物性残さ	廃蛍光ランプ類
	全 処 理 委 託 量	110.00 t	0.70 t	210.00 t	0.18 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	8.00 t	0.70 t	210.00 t	0.18 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	0.70 t	210.00 t	0.18 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)－3

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃電池類	金属くず		
	全 処 理 委 託 量	0.04 t	3.00 t	－ t	－ t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.04 t	－ t	－ t	－ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.04 t	3.00 t	－ t	－ t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】				
産業廃棄物の種類				管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	7.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	7.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。